

山武地域に適した新規就農者支援のあり方の検討に向けて

～新規就農者支援に係る先進事例視察研修会～

山武農業事務所改良普及課 令和5年8月21日発

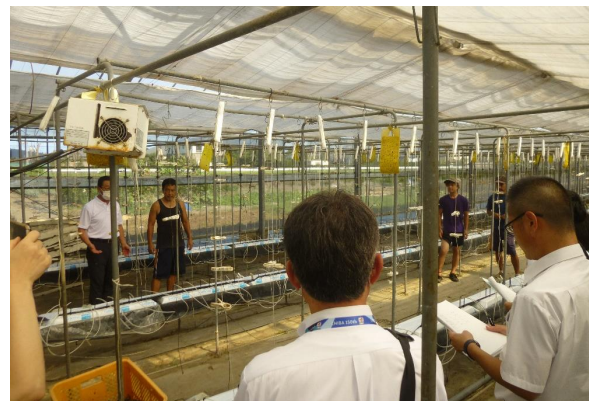
高齢化が進む山武地域の農業の担い手確保のためには、既存農家の後継者だけでなく、地域外からの新規就農者の受入れが必要です。そこで農業事務所では、山武地域に適した新規就農者支援体制の検討を目的に、8月2日に長生農業独立支援センターへの視察研修会を開催したところ、市町やJA等の関係機関14名が参加しました。

初めに長生農業独立支援センターから、センター設立の経緯や現在の取組み内容、関係機関の役割分担等の説明を受けた後、研修生を指導する農家から、研修生受入への思い等についてお話を伺いました。参加者からは、「長生地域の成功事例を参考に、山武でも新規就農者の支援に力を入れるべきだ」等の意見が聞かれました。

農業事務所では、山武地域における新規就農者支援体制の構築に向け、関係機関と協議を進めます。



長生農業独立支援センターの取組み
について講義を聞く参加者



産地の新たな担い手を確保するため、
研修生を指導する生産者